

第27回島根県医療関係機関等図書館（室）懇談会

雲南市の地域づくりと地域包括ケア

平成30年12月4日
雲南市医療介護連携室

1. 地域包括ケアシステムとは
2. 雲南市の地域づくり
3. 地域包括ケアの推進にむけて
4. 具体的な取り組み紹介
5. おわりに

1. 地域包括ケアシステムとは

「住み慣れた地域で誰もが自分らしい暮らしを人生の最後までつづける」
ことができるようにするための地域づくり



地域包括ケアシステム

医療分野、介護分野、住まい分野、地域がそれぞれの役割に応じ一人ひとりの日常の暮らしを支えあっていく仕組み

2 . 雲 南 市 の 地 域 づ く り

小規模多機能自治による住民主体のまちづくりをめざす雲南市
平成17年度より地域自主組織の育成・支援に取り組む

市内に30の地域自主組織が設置

地域自主組織による取り組みの3本柱

地域づくり

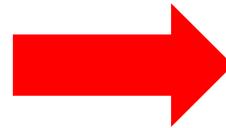
生涯学習

地域福祉

地域振興・活性化

地域おこしイベント

コミュニティビジネス



地域課題の解決

高齢者の困りごと

子育て支援

雲南市の特徴（強み）

雲南市では地域自主組織が中心となり
住民主体の地域活動が行われている

2 . 雲南市の地域づくり

地域包括ケアの視点で考える

高齢者の抱える地域課題

「住み慣れた地域で暮らし続けるために・・・」

生活支援 / 草刈り・雪かき支援、見守り活動、送迎支援、買い物、配食

介護予防 / 交流の場の確保、介護予防活動の推進

各自治体が地域における活動主体の育成に苦慮

**地域包括ケア（生活支援・介護予防の取り組み）の
基礎が形成されていく**

地域自主組織の活動事例／見守り活動

まめなか君の水道検針



(三刀屋町鍋山)

24時間のSOS受診



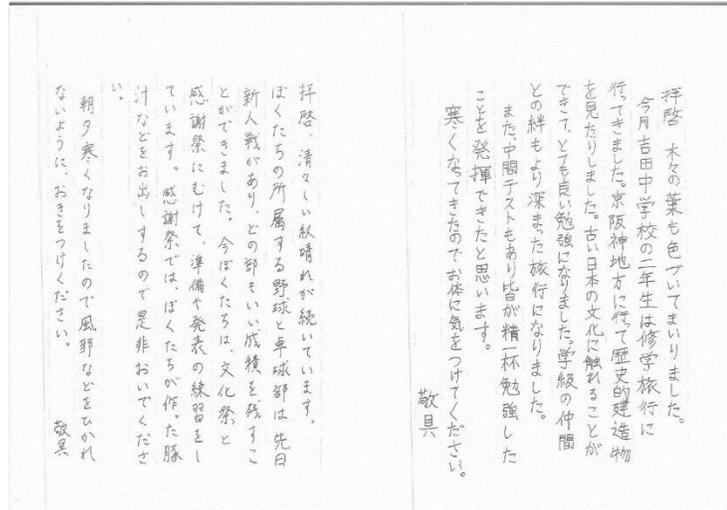
(三刀屋町鍋山)

黄色い旗運動



(吉田町民谷)

ここに通信



(吉田町吉田)

福祉カード活用による支援制度

おねがい会員・まかせて会員 登録名簿		新市地区自主防災組織					
おねがい会員	自力もしくは家族の介助だけでは避難が困難な方。						
まかせて会員	おねがい会員の避難支援をする方。向こう三軒両隣による共助。平常時における見守り活動（声かけ・あいさつ・訪問）						
● 告知放送等での避難準備情報発令時からおねがい会員/まかせて会員は避難行動を開始してください。							
No.	おねがい会員	Tel No	まかせて会員	Tel No	その他	集合場所	避難場所
例	木次 太郎	42-5110	新市 次郎	42-0779	自力歩行困難 車椅子	集会所	総合センター
			雲南 三郎	42-0009			
1							
2							
3							

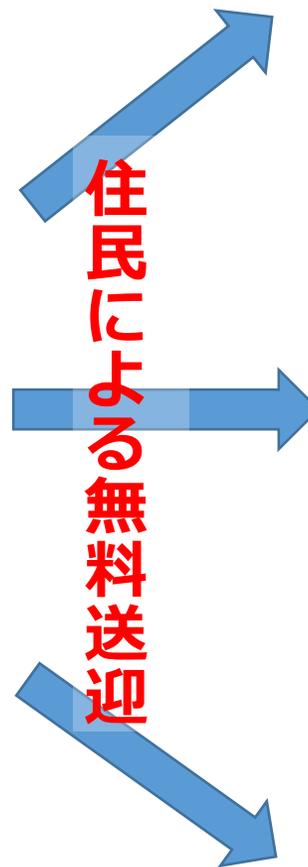
(木次町新市)

地域自主組織の活動事例 / 送迎支援

たすけあい号の運行



(掛合町波多)



波多マーケット



高齢者サロン



地域イベント



地域自主組織の活動事例／買い物支援

ファミマ連携移動販売



(吉田町民谷、吉田)
(三刀屋町鍋山、一宮)

笑んがわ市



(三刀屋町中野)

波多マーケット



(掛合町波多)

地域自主組織の活動事例／交流の場

茶のん場 へびす



(木次町三新塔)

「ほほ笑み」



(三刀屋町三刀屋)

笑んがわ市



(三刀屋町中野)

高齢者サロン



(自治会単位)

地域自主組織の活動事例／配食・会食サービス

い い ～ 飯 会



高齢者サロン会食会（提供型）



高齢者サロン会食会（持寄型）



（大東町塩田）



（掛合町波多）

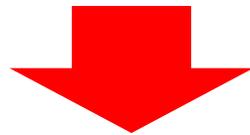


（掛合町多根）

3. 地域包括ケア（生活支援・介護予防）の推進に向けて

地 域 包 括 ケ ア の 進 め 方

- 地域自主組織の既存の取り組みを基底に据える
- 行政として取り組みの詳細をしっかりと把握し、補充・深化が図られるよう支援する
- 活動を理解し、協力する（参加する）住民を一人でも増やす



住 民 主 体 の 活 動 を 支 援

3. 地域包括ケア（生活支援・介護予防）の推進に向けて

支援の体制

地域自主組織による取り組みの3本柱

地域づくり

地域づくり担当職員

各総合センターに1人配置

6人

生涯学習

教育支援 C N

各中学校に1人配置

7人

地域福祉

社協地区担当

各町に1人配置（兼務）

6人

分野ごと、町ごとに
支援を行う人材を配置



相互連携
相互補完
試行錯誤中

生活支援 C N

圏域に1人配置

3人（現在2人配置）

3. 地域包括ケア（生活支援・介護予防）の推進に向けて 生活支援CNの配置

介護保険法 第115条の4 5第2項第5号

多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図る

市町村ごとに生活支援コーディネーターを配置する

第1層 / 市全体の取り組みを統括する者
雲南市で2人を配置

➡ 重点支援地区を定め、既存の取組の補充・深化を支援
(H30 木次町新市、掛合町波多)

第2層 / 日常生活場面における体制を構築する者
地域自主組織の地域福祉推進員を位置づける

➡ 週2日勤務から週4日勤務へ

4. 推進に向けた具体的取り組み

重点支援地区における取り組みの補充・深化

木次町新市

フィットネス新市



- ・ うなんん幸雲体操の変化系
- ・ おもりを利用した筋トレイメージを全面に男性高齢者の参加を促す
- ・ 馴染みの演歌、歌謡曲を歌いながら

健康チェックシートの活用

項目	観察・声かけポイント/日付	/ 月	/ 火	/ 水	/ 木
体調	「体調はいかがですか？」				
食事	「美味しく食べてますか？」				
睡眠	「夜は眠れていますか？」				
内服	「お薬は飲めていますか？」				
会話	「誰かとお会いしましたか？」				
	「最近楽しかったことは？」				
	「困り事・気になることは？」				
痛み	「痛いところがありますか？」				
観察	顔色・声の明るさはどうか？				

- ・ 地域ボランティアによる配食サービスを既に実施
- ・ 健康面に留意したより効果的な見守り方法を地域自主組織で模索
- ・ チェックシートの作成、活用

4. 推進に向けた具体的取り組み

掛合町波多 ほかほかサロン

- ・ 指定管理を受ける「満寿の湯（温泉施設）」を有効活用
- ・ 自治会サロンに参加しづらい方（男性）の参加促進がねらい
- ・ ワンコイン（500円）で温泉入浴と食事のサービスを提供



波多地区の思い出マップづくり



低栄養防止のため、昼食を提供

ボランティアが調理する食事はほぼ地元産
(イノシシ肉、山菜)



楽しむ様子から
孤食防止に役立つことの
気づきも

4. 推進に向けた具体的取り組み

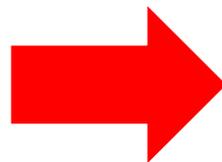
掛合町波多 介護施設等との連携

【従来からの地域課題】

地域の集いに参加していた
高 齢 者



介護認定
サービス開催



地域で姿を見かけなくなる



原因： 高齢者サロンの日 = デイサービスの日

介護サービス利用は週1、2日程度

地域で過ごす時間の方が長いのに、社会的つながりが崩れてしまう

生活支援CNとケアマネによる連携協議

3. 推進に向けた具体的取り組み

掛合町波多 介護施設等との連携

居宅介護事業所入間ふれあいセンター学習会



- ・住民主体による生活支援・介護予防の取り組み説明（生活支援CN、医療介護連携室）
- ・地域と介護施設との連携の必要性について考える



市内全体へ

地域自主組織の活動（インフォーマルサービス）を介護専門職と共有する

「地域のささえあい活動集」を作成中

「地域ケア会議」などで地域と介護の連携について考える

4. 推進に向けた具体的取り組み

医療機関との連携

○雲南病院から健康福祉部医療介護連携室へ職員派遣

→ 医療と行政の橋渡し

○地域ケア科との定期意見交換

→ 取り組み状況の把握、分野特性を生かした相互助言、事業推進に係る相互協力

- ・医療介護コミュニケーションツールの導入に向けた企画検討
- ・まちづくり講座への医師の参加
- ・研修医の地域活動への参加に際する調整

○在宅医療意見交換会（雲南保健所主催）

→ 診療所医師が雲南の今後の在宅支援を考える場（3月に1度）

- ・地域ケア科より介護分野の取り組みを伝える
- ・医療介護連携室より地域の取り組みを伝える

4. 推進に向けた具体的取り組み

地域包括ケアを考える機会の創出（まちづくり講座）



多根の郷（掛合町）



躍動鍋山（三刀屋町）



高齢者サロン（掛合町）

取組に必要な4つの視点を伝える

- ① 自分の好きな活動の場・集いの場を探す
- ② 健康づくり・介護予防を意識する
- ③ 少しの気づかいで広がる見守り活動
- ④ 地域と行政でつくる生活支援

自分たちにできることを考えてもらう機会
一人でも多くの協力者・実践者を得る機会

4. 推進に向けた具体的取り組み

地域包括ケアを考える機会の創出（まちづくり講座）

11月30日 掛合町波多地区意見交換会



波多地区住民
雲南病院（地域ケア科）
掛合SC（地域づくり担当職員）
健康福祉部（医療介護連携室、保健師、
第1層生活支援SC）

- 住民意識調査の結果報告
（健康感、生きがい、ヘルスリテラシ）
- 調査から見える地区の健康課題
- 医療者からの助言・提案
（人とつながる、困ったときに相談できる人）



住民自ら活力ある地域づくりについて、今後の展望を考える

4. 推進に向けた具体的取り組み

円卓会議の開催

市民・関係者・行政が地域課題について考える場 → 好事例の横展開をねらう

第1回 防災（6月1日） 第2回 地域の担い手確保（8月2日）

第3回 実施事業の見直し（10月2日）



円卓会議



おたがいさま雲南学習会

- 第2回円卓では生活支援体制構築に向け、ボランティア組織「おたがいさま雲南」と地域自主組織とが、連携して活動することの可能性を探る
- おたがいさま雲南主要メンバーに対しても、地域包括ケアに関する学習会を開催

第4回 地域包括ケアをテーマに開催予定（2月13日）

4. 推進に向けた具体的取り組み

行政内部の横断連携

地域づくり

地域づくり担当職員

生涯学習

教育支援 C N

地域福祉

社協地区担当
生活支援 C N
保健師



地域（地域自主組織）に密接に関わる職員が各々の取り組みや悩みを紹介しあい、よりよい連携の姿を考える

- ・地域診断（地域資源の把握）を一緒に行ってみる
- ・地域自主組織も含めた、事務担当者レベルでの定期連絡会を開催してみる
- ・協力者を増やすには自治会レベルで考えてもらうことが重要だが、ワークショップなどを共同で開催してみる

予想以上の盛り上がり！

1つでも具体的につながるように協議を継続

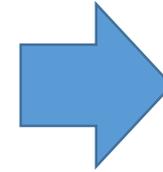
4. 推進に向けた具体的取り組み

介護予防の取組「うんなん幸雲体操の普及」

高知県「百歳いきいき体操」 → おもりを利用した筋トレ系体操、リハビリ協会の協力

○ 市民への周知状況

4 月 地域自主組織訪問時に事業説明
5 ~ 6 月 市連絡協・町連絡協で事業説明
6 月 うんなん幸雲体操体験会
7 月 介護予防研究会（体験会）



希望地区・団体に対し
随時プレゼン実施
市内15箇所（予定含む）



体 験 会



介護予防研究会（リハビリ協会主催）

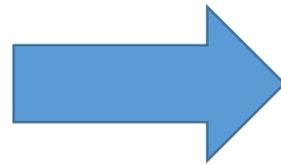
5 . 終わりに



地域包括ケア？ 生活支援？
介護予防？ 仕組みづくり？

**住民理解には時間
がかかる**

それって住民がすることなの？
私たちの問題ではないわよね！？



自分にできる小さな行動を起こす



みんなで考えてみること
できそうなことを実際にやってみること

**地道な活動を継続
小さな実践の積み重ね**